

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより



令和4年
5月発行

3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原小の教職員の
みなさん

特集 うえのはらで頑張る人…	2
議長あいさつ・議会の構成…	4
定例会で決まった主なこと…	6
議決結果等一覧表…	8
議会活性化特別委員会報告…	9
会期中の審査…	10
予算特別委員会…	11
一般質問…	14
閉会中の活動…	19
市民の声…	20



うえのはらで頑張る人 Vol.22 上野原小の教職員のみなさん



新型コロナウイルスの影響は、子どもたちの中にも広がっています。そうした中で、感染拡大を抑え、あらゆる状況でも教育活動をすすめていく上野原小学校の教職員の取組をお伺いしてきました。

教育活動を止めない
家庭や地域とともに感染防止

感染症対策で大切にしたこと

新型コロナウイルス感染症の拡大の中で、最も大切にしてきたのは、教育活動を止めないということです。学校に来るといことは、この時期の小中学生にとっては、とても大切なことです。そのためには徹底した感染症対策を行ってきました。三密の回避、マスク着用、手指消毒の徹底、換気の実行など、県や国からの指示もありますが、「コロナ感染症に係る対応一覧表」を作って対応しています。教頭を中心に何度も改正しています。

いじめや差別をしない

感染症対策で、気を遣っているのは、差別やいじめをさせないということです。

このことで、誰かが嫌な思いをしないということを常に念頭において指導してきました。





感染症対策では、地域の感染レベルに対して、対応を決めています。『新しい生活様式』を踏まえた学校の「行動基準」としてまとめてあります。この「行動基準」も、4月1日からは第7版を使っています。各地の情報を集め、教育委員会、医師会、保健所などと相談しながら決めてきました。

感染症対策は、家庭や地域の協力が必須です。メール、学校日より、ホームページなど多様な手段を使って、お知らせをしています。地域の方に知ってもらうために、学校だけではなく、WEB上で発信

子どもたちが、自然に対応できるような工夫もしています。登校時玄関の所で密になりやすいのですが、立つ位置にペンキで印をつけて、間隔があくようにしています。低学年のマスク着用についても、できないことを叱るのではなく、できるようにしていねいに指導するとともに、できなければ、他の子どもとの距離を取らせるなどの対応をしています。できない子どもをしかれば、差別やいじめにつながってしまいます。

行動基準をまとめる

するとともに、印刷して月2回の回覧板で回しています。

地域や家庭とともに

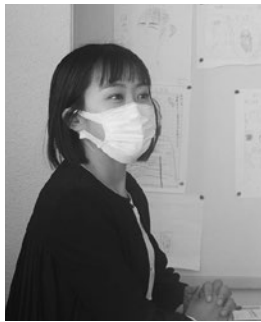
「どうしたらよくなるか考えて行動する」というキャッチコピーをつけて「上小だより」を発行しています。地域や家庭で、子どもと一緒に学校のことを話題にしていただければ、一層教育効果が上がると考えています。

情報の共有を大切に

情報の共有は以前にもまして重要になってきています。コロナ対応は、常に動いています。市内7校の校長会でも情報交換を常に行っています。コロナ対応で、緊急に校長会を開く必要が出てきましたが、なるべく学校から離れたところにある。そのために、リモート会議も活用しています。今年度はすでに40回ほど開いています。

働き方も工夫して

教職員の働き方改革も重要な問題です。コロナ禍はたくさん問題が生じます。今、学校はICT教育、外国語教育など新しいものを



取り入れてきています。教職員の長時間勤務は見過ごせない状況になっています。その中で、工夫をして、負担軽減の取り組みをしています。例えば、学年日よりですが、以前は各学年が発行していましたが、教頭が一本化して各学年の情報をまとめて統一学年だよりを配信しています。業務改善・働き方改革は、これをやればという特効薬はありません。具体的に軽減するものを積み上げていくしかないと考えています。



行政や議会に望むこと

教育委員会には、スクールカウンセラーなどを配置していただいております。しかし、保護者側の考え方が多様化していて、それに対応するにも時間がかかります。人的な配置が必要になってくるのが多分にあります。

取材を終えて

校長先生や教職員の皆さんから、学校としてのコロナ対策や各種災害に対する説明を受け、実際の取り組みについて教室等を拝見させていただきました。目に見えない所でも色々工夫され、それを教育に活かしている姿勢に頭がさがる思いでした。



東山洋昭議長



岡部幸喜副議長

議長就任のあいさつ

議長 東山洋昭

議員各位のご推挙により、第18代上野原市議会議長に就任いたしました。その重責に身が引き締まる思いです。

議会の円滑な運営を図り、市民のために全身全霊、粉骨砕身、その務めを果たしてまいります。

さて、現在のコロナ禍の中で、市民の方々は精神的、経済的に大きな負担を強いられ、また将来の不安感も払拭できません。行政でも新型コロナウイルス感染症収束に向けての取組み、市内の子育て世代や中小企業の支援等、様々な施策をタイムリーに打ち出して来しました。私たち議会はそれらの施策を監視し検証することだけでなく、市民からの要望等について、可能なものからスピード感をもって対応し、実現のために施策提案等を行うことが必要だと考えます。

市民の皆様方には、今後とも議会に対して、ご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

総務産業常任委員会



山口 薫 岡部 幸喜 東山 洋昭 白鳥 純雄
尾形 重寅 ○尾形 幸召 ◎長田喜巴夫 杉本 公文

議会の構成



文教厚生常任委員会

遠藤美智子 八木 一雄 川田 好博
川島 秀夫 ○杉本 友栄 ◎内田 倫弘 山口 好昭

議会運営委員会



後列左から 山口 薫 遠藤美智子
前列左から 山口 好昭 ○八木 一雄
◎杉本 公文 白鳥 純雄

議会だより編集常任委員会



後列左から 八木 一雄 内田 倫弘
前列左から 遠藤美智子 ○山口 薫
◎川田 好博 白鳥 純雄

議会活性化特別委員会

◎川島 秀夫 ○長田喜巴夫
議長を除く14人の議員で構成

◎は委員長 ○は副委員長

3月
定例会

定例会で決まった
主なこと

令和4年第1回定例会が、3月2日から23日までの22日間の会期で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	46件
請願	1件
発議	3件
計	50件

※ 議案名・議決結果等は8〜9ページをご覧ください。

議案第1号

上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び上野原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

条例
制定

市職員の育児休業及び部分休業に関する取得要件が緩和

妊娠・出産・育児等仕事の両立支援のため、職員の特別休暇の基準に不妊治療休暇を追加し、育児休業及び部分休業に係る取得要件を緩和し、勤務環境の整備を図りました。

施行日 令和4年4月1日

議案第2号
議案第3号

上野原市旅費等の特例に関する条例制定について
上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について

条例
改正

職員の旅費の日当は不支給
市長等の期末手当を減額支給

市の財政状況にあわせ、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間、特別職で非常勤のもの、市長、副市長、教育長及び一般職の職員が公務の為に旅行した場合の旅費の日当が規定にかかわらず支給しないと定められました。

また、市長、副市長及び教育長の期末手当を令和4年6月以降に支給する期末手当を年間0・6月減額して支給する新たな条例制定です。

議案第4号

上野原市長の給与の特例に関する条例制定について

条例
改正

新型コロナウイルス対策に資するため
市長の給与を50%減額

新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響軽減に資することを目的として条例を制定します。

施行期間 令和4年4月1日から

令和5年3月31日

議案第7号 令和3年度上野原市一般会計補正予算(第8号)

補正予算

総額7286万1千円の増額

■ 増額となった主な事業

生活バス路線維持補助金 3070万7千円

(当事業は、この定例会で新たに計上されました)

住民税非課税世帯等に対する臨時特別支援事業 3025万円

放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業

学童保育 504万円

私立幼稚園 48万6千円

子育て世帯等臨時応援給付金支給事業 1121万2千円

四方津駅昇降施設棟外建設工事費の増額 449万9千円

コロナ禍の中で、実施できず予算が減額された事業もありです。

議案第40号 上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定について

指定管理

ふるさと長寿館の指定管理

上野原市ふるさと長寿館の指定管理の期限が令和4年3月31日で切れるため、新たに指定管理者の指定をしました。

指定管理者 上野原市桐原541番地

未来プロジェクト会議 会長 山口照義

指定期間 令和4年4月1日から

令和7年3月31日

議案第41号・42号 人権擁護委員候補者の推薦について

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

令和4年6月30日をもって2名の任期が満了を迎えるため、その後任委員の候補者の推薦に当たり全会一致で候補者を適任としました。

人権擁護委員候補者 田口 茂貴氏

原田 清明氏

議案第45号 議案第46号 上野原市教育委員会教育長の任命の同意について 上野原市教育委員会委員の任命の同意について

人事案件

教育委員会教育長・委員の同意

任期満了に伴う教育委員会教育長・委員の任命について議会の同意を求められました。

教育委員会教育長 中村 光義氏 不同意

教育委員会委員 市村 恵美氏 同意

請願第1号

請願

インボイス制度についての請願

「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバ―人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となるよう適切な措置を講じるための請願書

来年10月に予定されている消費税等にかかる「適格請求書保存方式(インボイス制度)」の導入は、新たに非課税業者に消費税の負担を求めるものです。シルバ―人材センターの事業の及ぼす影響が極めて大きく、適切な措置を国に求める請願です。全会一致で採択され、国に意見書を送ることになりました。

令和4年第1回定例会議決結果等一覧表

第1回定例会

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案件名	付託委員会	内田倫弘	八木一雄	山口薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
16	令和4年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算	予算	○	○	○	○	○	◎	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	上野原市教育委員会教育長の任命の同意について	-	●	●	欠	●	●	○		●	●	●	●	●	●	○	○	●

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	審議結果
1	総務産業	上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び上野原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
2		上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	
3		上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	
4		上野原市長の給与の特例に関する条例制定について	
5	文教厚生	上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
6		上野原市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定について	
7	-	令和3年度上野原市一般会計補正予算(第8号)	
8		令和3年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
9		令和3年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
10		令和3年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	
11		令和3年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	
12		令和3年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	
13	令和3年度上野原市病院事業会計補正予算(第1号)		
14	予算特別	令和4年度上野原市一般会計予算	
15		令和4年度上野原市国民健康保険特別会計予算	
17		令和4年度上野原市介護保険特別会計予算	
18		令和4年度上野原市介護サービス事業特別会計予算	
19		令和4年度上野原市公共下水道事業特別会計予算	
20		令和4年度上野原市簡易水道事業特別会計予算	
21		令和4年度上野原市教育奨励資金特別会計予算	
22		令和4年度上野原市大目財産区特別会計予算	
23		令和4年度上野原市甲東財産区特別会計予算	
24		令和4年度上野原市巖財産区特別会計予算	
25		令和4年度上野原市島田財産区特別会計予算	
26		令和4年度上野原市上野原財産区特別会計予算	
27		令和4年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算	
28		令和4年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算	
29	令和4年度上野原市秋山財産区特別会計予算		
30	令和4年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算		
31	令和4年度上野原市病院事業会計予算		
32	-	上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
33		上野原市猪丸辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
34		上野原市沢渡辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
35		上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
36		上野原市飯尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

令和4年第1回定例会議決結果等一覧表

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
37	—	上野原市秋山安寺沢辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	可決
38	—	上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	
39	総務 産業	上野原市道路線の変更について	
40		上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定について	
41	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
42		人権擁護委員候補者の推薦について	可決
43		上野原市道路線の変更について	
44		四方津駅周辺昇降棟外建設工事（継続費）請負変更契約締結について	
46	—	上野原市教育委員会委員の任命の同意について	同意
請願 1	—	「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となるよう適切な措置を講じるための請願書	採択
発議 1	—	上野原駅、四方津駅から撤去した時計の再設置を求める決議	可決
発議 2	—	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	
発議 3	—	「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」について、シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書（案）の提出について	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

議会活性化特別委員会委員長報告

議員定数2名削減、14名に

定例会最終日の3月23日に、議会活性化特別委員会の委員長報告が以下のように行われました。議員定数削減については、今後の定例会に議案として上程される予定です。

本委員会は、令和3年3月定例会において調査期限を延長し、調査項目を「議員定数及び議員報酬について」、「議会基本条例の制定について」の2項目に絞り、議論を重ねてきました。

議員定数については、削減すべきとの意見が大半を占め、採決の結果、賛成多数で、現行の16人から2人を削減し、次期選挙から14人とすべきものと決定しました。

議員報酬については、委員から引き上げを要望する声が多数あがっていましたが、令和3年9月に「特別職報酬等審議会」における検討を市長に要請し、現在も慎重審議をいただいているところです。

議会基本条例の制定については、条例の素案づくりのため、委員5人による小委員会を令和3年8月に立ち上げ、毎月委員会を開催し、着々と素案づくりを進めています。

また、会議のインターネット配信については、早急に取り組む課題の一つとしていましたが、今定例会から、ユーチューブを活用した録画映像の配信に向けて、現在、市当局と調整を図りながら準備を進めています。

総務産業常任委員会

委員長 長田喜巳夫
副委員長 尾形幸召
委員 山口 薫
白鳥純雄
東山洋昭
杉本公文
岡部幸喜
尾形重真

3月7日委員会を開催し、付託された条例制定4件、市道路線の変更1件、指定管理者の指定1件、請願1件の計7件について審査しました。

議案第1号「上野原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び上野原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、市職員の特別休暇に不妊治療休暇等を追加する改正を行うものです。委員からは、正規職員は何人なのか等の質問があり、240名程度等との答弁がありました。

議案第4号「上野原市長の給与の特例に関する条例制定について」は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの市長の給料について、100分の50を減額支給するものです。

議案第40号「上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定について」は、4月1日以降「未

来プロジェクト会議」を指定管理者に指定するものです。

他の3案件を含む当局提出の6案件について採決した結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。請願第1号については、「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の適切な措置を求めらるるもので、全会一致で採択すべきものと決定しました。

また、閉会中の継続審査として地域資源の活用方法について、視察調査することとなりました。



ふるさと長寿館

文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

3月7日委員会を開催し、付託されました条例制定2件を審査しました。

議案第5号「上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、現在の経過措置期限の令和4年3月31日までに、認定資格研修を修了しない、みなし支援員が6名いる事から、令和6年3月31日まで延長するものです。

Q 県の研修の頻度と募集人数、研修時間はどのくらいか。

A 年1回、当市の枠が4名、研修時間は9時過ぎから15時頃までを6日間です。

委員からは、年1回の研修では限度がある、回数を増やす等、要望すべきと意見が出ました。

議案第6号「上野原市学校給食共同調理場条例の一部を改正

する条例制定について」は、学校給食の公会計化に当たり、調理場ごとに設置された学校給食運営委員会を一本化するものです。

いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、委員から桂川テニス兼フットサル場の改修状況について調査すべきとの意見があり、閉会中の視察調査をすることに決定しました。



四方津学校給食共同調理場

4年度
予算

当初予算の審査を行いました

第1回定例会で、議長を除く14人の議員で構成される予算特別委員会が設置されました。予算特別委員会は、令和5年2月の任期満了までの間、当初予算、委員会付託を省略した以外の補正予算について審査を行います。

委員長に白鳥純雄議員、副委員長に山口薫議員を互選しました。

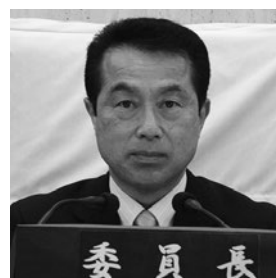
議案第14号から第31号までの令和4年度一般会計予算、各特別会計予算及び病院事業会計予算、合わせて18件について、3月9日、11日、14日の3日間にわたり、予算特別委員会で審査が行われました。まず、各課から担当職員の出席を求め、課別の質疑が行われました。最終日の午後は市長以下全ての部課長の出席を求め、総括質疑が行われました。総括質疑を含め、108件の質疑が行われました。

議案第16号 令和4年度上野原市後期高齢者医療特別会計については、異議がありましたので起立採決を行い、可決すべきものと決定しました。他の17案件は全会一致で可決すべきものと決定しました。

以下、いくつかの項目の質疑について、その概略を載せます。



副委員長



委員長

令和4年度の予算規模

一般会計

歳入・歳出

108億1977万円

前年度比 4.3%減

特別会計（16会計）

歳入・歳出

73億6021万6千円

前年度比 3.3%増

前年度比は、6月補正を含めた本格予算との比

予算特別委員会

委員長	白鳥 純雄		
副委員長	山口 薫		
委員	内田 倫弘	八木 一雄	
	遠藤美智子	川田 好博	
	川島 秀夫	杉本 公文	
	山口 好昭	長田喜巳夫	
	杉本 友栄	尾形 幸召	
	岡部 幸喜	尾形 重寅	

住民票等コンビニ交付事業

- Q** 提供開始はいつから、今後の交付証明書の種類はふえるのか。
- A** 地方公共団体システム機構に申請したのち6か月の期間が必要となり、システムの改修に3か月、テストに3か月必要とされている為、提供開始は令和4年12月を予定しています。今後の発行できる証明書の種類については検討中です。



質問 と 答弁

ふるさと納税返礼品

- Q** 今年度から県共通品の「桃」(3年度実績2千万円強)が返礼品として扱えなくなる。そのための代替策は。
- A** 長期的には、市内の事業者や商品を育てることが不可欠です。短期的には、県東部地域の自治体とも連携しながら新たな返礼品の開拓を行い品数の増強を進めている他、掲載サイトの魅力向上やPR力の強化を図っています。現在は、市内に6箇所あるゴルフ場などの交渉を進めています。

脱炭素化事業

- Q** 公共施設等適正管理推進事業に本年度から脱炭素化事業が追加されたが。
- A** 環境基本計画を策定中ですが、この計画に沿った事業で活用を検討していきたいと考えています。

防災リーダー育成は

- Q** 今年度の甲斐の国防災リーダー育成状況と、防災リーダーの地域での活用は。
- A** 職員から5名と昨年度の52名の防災リーダーの中で、受講希望者に甲斐の国防災リーダー研修を受講していただきます。防災リーダーが地域で活動できるように早い時期に組織化出来るように検討します。

都市計画道路網の見直し

- Q** 都市計画道路網の見直し、検討は補助金の活用も含め、どのように進め実現していくのか。
- A** 都市計画道路の見直しを令和5年度までに着手すれば、国の補助制度による補助金の活用ができ、業務遂行が可能になります。この機に「都市計画道路」の見直しの素案を策定し、専門業者や都市計画審議委員会等の意見を伺いながら進めて行きます。

適応指導教室（ステップ）

- Q ステップの相談件数と利用者の状況は。
- A 現在までの利用者は7名です。4月から2月までで、不登校といじめを除く友人・職員関係の相談件数が254件です。



高齢者スマートフォン教室

- Q 開催回数と受講者人数の見込みは。
- A スマートフォンを持っていない方を対象に、導入編、基礎編、活用編というように、1人3講座を受講していただき、それを3回にわけ行う予定です。1回15名で45名を予定しています。

女性・障がい者の雇用

- Q 女性や障がい者の採用枠は設けているのか。
- A 女性・男性・障害者というより人物重視で採用しています。障がい者の第1次試験通過者については、2次3次試験で障がい者手帳保持者等に一定の配慮をしています。

教員の多忙化解消対策

- Q 部活動指導員の配置部署での成果は。
- A 部活動指導員の活用により、指導内容の分担や休日の指導を任せられることができるなど、顧問に時間的な余裕が生まれ、部活動以外の業務ができるので負担軽減になっています。なお、現在各中学校1名の配置なので、今後、増員に向けては、部活動指導員の予算の増額や、指導員を確保することができるかなどの課題もあります。

ファミリーサポート事業

- Q 現在、援助会員が少ないと聞いているが。
- A 依頼会員に対して援助会員が少ないため、改善策として令和4年度はファミリーサポーターの研修会を行います。従来は援助会員の自宅でサポートをしていますが、今後は子育て支援センター内でファミリーサポート事業を行う方向です。

市立病院の人工透析

- Q 現在66人の透析患者の内、15人の患者が市外の医療機関に通院し、新年度も交通費の予算計上をしているが、市立病院の人工透析充実の予定は。
- A 今後10年間、地域医療振興協会に指定管理を委託することが決定。事業計画で透析業務の充実(増設)を図ることになっています。

女性が輝き活躍する
活力あるまちへ



遠藤美智子

生活保護の申請は国民の権利



川田好博

質問

日頃、地域の女性から「市は、もっと女性の声を聴いてほしい。住民参加の市政運営をしてほしい。」等の声を聞く。介護や子育て、就労等、日々の生活に密着した女性の考えや意見をまちづくりに生かすために、「女性議会」を開催する考えは。

答弁

女性が行政など、あらゆる分野に関心を持って頂く機会を設けることは大変に意義があるものと考えます。私も必要と感じています。設置については、今後、事務局と検討していきたいと思えます。

質問

「地域女性活躍推進交付金」を活用し、悩みを抱える女性の相談窓口の設置について、見解を問う。

答弁

他の自治体の事例を参考に女性が抱える不安や困難に応じた適切な支援のため、相談事業の拡充について研



究していきます。尚、SNSによる相談やオンライン相談などニーズを踏まえながら相談方法の多様化についても検討していきます。

質問

今後、更なる女性の視点を活かした防災・減災対策の取り組みを3点提案する。当局の考えは。

答弁

・ 自主防災組織の中心的役割を担う防災リーダーに女性の参画を推進します。
・ 危機管理室への女性職員の配置を関係部課と協議します。
・ 液体ミルクの備蓄について、市内の小売業と物資供給締結に向けた協議を検討します。

質問

生活保護受給世帯と人数、生活保護率は。

答弁

103世帯、125人です。生活保護率は0.56%です。全国の生活保護率は、1.63%。山梨県は0.52%。山梨県や上野原市の保護率が低い原因は。

質問

同居率が高いことや安定的に収入があることが一般的に考えられます。なお上野原市では、高齢者の割合が半数以上であること、また生産年齢層の受給者が少ないことがあげられます。

答弁

同居率が高いことや安定的に収入があることが一般的に考えられます。なお上野原市では、高齢者の割合が半数以上であること、また生産年齢層の受給者が少ないことがあげられます。

質問

上野原市の場合、保育所の関係から、同居しないと子育てができないという現実がある。子どもや保育所の実態についてはよく調査をしてほしい。

答弁

部内や庁内で検討し、前向きに考えていきたい。

質問

厚生労働省も生活保護の申請は国民の権利ですとアピールしている。このこと

をもっと知らせる必要があるのでは。

答弁

生活保護制度の周知を図るとともに、引き続き制度の正しい理解に努め、市民の方々がためらわずに相談できるように努めていきたい。

質問

親族に対する扶養照会について、厚生労働省からの通知はどのような内容か。

答弁

要保護者が扶養照会を拒んでいる場合等においては、扶養義務が履行できないものに該当するか否かという観点から検討を行い、要保護者の意向を尊重する方向性を明らかにしています。



滋賀県野洲市作成

自治体DX
ヤングケアラーについて



川島秀夫

質問

自治体DXの計画、その将来像は。

答弁

自治体においては、まずは、「自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる」と共に、「デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくこと」が求められており、積極的に推進していきたいと考えます。

質問

ヤングケアラーについて児童の生きる・育つ・守られる・参加する権利を守るサポート体制は。

答弁

広く市民の皆様を知っていただくため、広報に記事を掲載、教育委員会では、小中学校の児童生徒に対し、ヤングケアラー相談窓口や相談促進啓発カードを配布するなど、早期発見に向けた指導を行っています。学校現場や教育委員会、福祉保健部等の関係する機関が相互に情報を共有し、連携サポートが出来る体制を整えていきます。

質問

「全ての市民に行政放送を」は実現できるのか。

答弁

令和4年3月第1回定例会の議会放送分から、ユーザーによるインターネット配信を実施するよう、現在、準備を進めています。



「ヤングケアラー」を知っていますか？
ヤングケアラーとは、家族など身近な人に対して、医療で介護、看護、日常生活上のお世話を担っている18歳未満の方です。

持続可能なまちづくり



白鳥純雄

質問

公共施設マネジメント計画現在までの達成状況と施設の活用状況は。

答弁

建物施設については今後40年間で総延べ床面積の25%削減の目標に対し、8年経過で2・4%程度除却実施しました。旧島田保育所は解体までの間、社会福祉法人へ、幼保連携型認定こども園としての活用で調整中、上野原教職員住宅は、学校法人に学生寮として有償で貸し出します。

質問

制と課題解決に向けて協議を行っています。

質問

職員の働き方改革、企業研修以外でもNPOや地域活動等に参加し、服務するライフワークを進めては。

答弁

副業許可基準が明確化された人材戦略としてのスキルアップのためにも、地域の一員として地域貢献活動等への参加は、今後も必要と考えています。

質問

消防職員の勤務体系や、職員数改善で、緊急時に柵原・秋山出張所の閉鎖を減らす取り組みは行われているのか。

答弁

出張所の閉鎖をしない取り組みとしては、週休振替や日勤者の当直等を職員の協力により実施しています。再任用・定年延長を踏まえた消防本部の定数に関する考え方を整理し、必要な体



持続可能な上野原のために
いま、最善の対策を！



山口 薫

質問

NTTの光を市内全域で使えるように、市の行政放送を市内どこでも見られるようにする。この情報格差の解消が市の発展に絶対的の必要条件であると思うが。

答弁

市としては、基本的に市内全域でNTT光が使えるよう検討し、NTT本社等へも要望を続けています。

質問

デマンドタクシーは、高齢者等交通弱者の支援が目的だと思ふ。駅への乗り入れや発車、予約、近隣市との相互乗り入れ等、時代や市民のニーズに合わせて改善していくべきと思うが。

答弁

利用者の要望に応えられるよう、公共交通活性化協議会等と協議し、民間事業者を補完する形で利便性を高めていきたいと思ひます。

質問

小水力発電は、①非常電源として有効②温室効果ガスを出さない③売電収入が期待できる。市もこれを設置

答弁

国でも環境面や防災面から有効なものとして、マイクログリッドの構築を推奨しています。市としても再生可能エネルギーの活用方法等を検討していきます。

質問

震災や火災、急病も事故も近くの人が素早く消火し対処する事で、財産や尊い命が救えます。小規模でも身近な訓練が定期的に行えるよう指導体制の充実を。

答弁

年1回の総合訓練だけではなく、身近な訓練が定期的に行えるよう、各防災組織と連携して検討します。



地域の魅力を
「見せる場」「活かす場」



長田喜巳夫

質問

都市計画マスタープランでは、「見せる場」「活かす場」をどう位置付けているか。

答弁

山間地域の良好な景観、旧甲州街道の宿場町や石畳、一里塚、桂川の水辺風景などを「見せる場」として、それらの魅力を発信する直売所のような販売拠点を「活かす場」としています。また、拠点づくりにおいても森林資源を活用し地域の魅力を活かす方向です。

質問

具体的な実施計画は。

答弁

「見せる場」については、談合坂周辺の花桃や犬目峠の富士を活かしたビューポイントづくり、枝垂れ桜、もみじの植栽を中心に地域の魅力を発信する取り組みを進めています。地域の魅力を発信する「活かす場」の拠点施設については、旧甲州街道沿いや国道20号沿いの市内中心部や巖地区の整備の可能性について今後

意見

も検討していきます。「活かす場」の拠点施設の直売所とすれば「道の駅」が想定できる。場所については、上野原駅周辺、新町からの駅通も視野に入れた検討が必要と考える。国交省との一体型と市町村の独自型があるが、この道の駅は情報発信の場、地域の連携強化の場として大変有効な施設であり、計画性を持ち実現すべきである。

他に、地方移住、都市計画マスタープランの都市構造の考え方、各地域へのまちづくり委員会設置について質問しました。



家庭ゴミの有料化について
実施時期と市民への周知は



杉本公文

質問

ゴミの減量化と分別を促進し、資源化率の向上等を目指すとする家庭ゴミ有料化の実施時期は、コロナウィルスの関係で延期されているが、導入スケジュールは。

答弁

令和4年度中に条例を改正し、当初予定より、1年遅れの令和6年1月に実施する予定です。

質問

住民説明会や市民への周知をどのように実施するのか。又、既に作成の概要版パンフは、分かりやすいので、説明会だけでなく、全戸に配布すべきと考えるが。

答弁

説明会の実施方法や回数は4年度に検討し、会場を確保して、各地区で実施する予定です。住民への周知については、令和4年度早々にQ&Aもつけた案内を配布します。概要版は全戸に配布したいと思います。

他に、駒門から栃穴、杖突に至る道路整備について、情報通信の整備について、質問をしました。

答弁

袋の製造料金も原油高の影響で上がっている状況もあり、業者と調整する中で、予定では、令和4年7月頃をめどに価格、素材などを決定したいと思います。



水道行政・簡易水道整備の
具現化について



山口好昭

質問

整備された簡易水道の直営への移行について。

答弁

各簡易水道組合の状況を踏まえると水道料金体系や維持管理方法等の課題があると考えます。それらを明確にし、解決に向け協議を重ね、市営簡易水道と同等の運営状況となった組合から順次直営化を進められるように検討していきたいと思えます。

要望

一歩前進した答弁がありました。給水戸数、給水人口が少ない組合でも、現行市営簡水に勝るとも劣らない施設整備、健全運営を実践している組合簡易水道が存在します。これらの組合簡易水道を順次直営化に移行するよう要望します。

質問

直営化移行のルールづくりと条例改正について。

答弁

各簡易水道組合等の状況等を把握し、課題をクリアした上で、関係機関等と協議

意見

し対応していきます。料金体系の統一や濾過施設整備等のルールを定めていくことを各簡易水道組合の意見を伺いながら検討します。私の地元の尾続簡易水道は平成30年10月に署名簿を添えて移管、移行の陳情をした経緯があります。又昨年6月議会の一般質問で取り上げた通り文教厚生常任委員会の簡易水道視察調査における委員長報告で、一定の整備された簡易水道は、市営管理にすべきか議論を重ねるよう要望したことを申し添えます。



保育所保護者の送迎の負担軽減 文化財常設展示施設の整備



八木一雄

質問

本市に於ける人口減少対策の大きな柱である「子育て支援」の更なる充実に向け働きながら子育てができる環境整備の一環として、朝晩の保育所送迎の負担軽減を図るために駅近くに「保育所送迎施設（ステーション）」の設置の考えは。

答弁

現在、子ども・子育て支援事業計画の次期計画の策定に当たり、送迎保育施設の設置も含め、時代に合ったニーズを的確に捉える必要があると考えています。

質問

昨今、子育て世代を中心に移住者数5年連続全国1位の流山市は、入所施設に向かなくても「指定の駅に設置された保育送迎施設」に子供を預けることにより登園・降園ができるシステムが人気の最上位にあり、高く評価されています。先進地の実態把握を行い政策立案に取り入れる考えは。

答弁

子育て世代を上野原市に呼び込むための政策を検討するにあたり、先進地の実態把握を行うことは重要であり、まずは先進地の調査、実態把握を早急に実施して子育て政策に役立てます。

質問

4年度からの第2期教育振興基本計画で謳われている「文化遺産の継承と活用」の具現化として、文化財常設展示施設の開設時期は。

答弁

令和6年度開設（開館）を目標としています。

質問

目標年度に向けた年次計画（工程表）の策定状況は。

答弁

まだ具体的な計画は無く、今後課内、庁内で協議して実行計画を策定します。



ロシアによるウクライナ侵攻に 抗議する市議会の決議

2月24日、ロシアはウクライナに侵攻を開始しました。国際条約にも、国連憲章にも反する行為で、世界中から批難の声があがっています。

上野原市議会も3月2日の本会議に「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」提出の動議が出され、全会一致で左記の決議が可決されました。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

「ロシアによるウクライナ侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう断じて容認することはできない暴挙であり、力を背景とした現状変更は、国際法違反で断じて看過できない。」

我が国日本も国境を接するものとして重大なる関心を持つて対応すべきである。

上野原市の住民にとっても安全保障、経済活動などの住民生活に直結する重大な影響が考えられる。

日本政府は、在留邦人の安全確保に努め、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに制裁措置を行う、ウクライナに対しての人道支援、医療支援を行うとともに、速やかな即時無条件によるロシア軍の完全撤退を要請するものである。

令和4年3月2日

上野原市議会

議員全員協議会

市立病院の指定管理について調査

議員全員協議会において、2月9日に「上野原市立病院の指定管理について」、調査を行いました。説明は、指定管理者である地域医療振興協会が行いました。

病院運営は、人口減少、少子高齢化、新型コロナウイルスの感染症拡大・長期化等に伴う患者数の減少に加え、医師・看護師確保が困難となっている事や、東京都に隣接する地理的要因も重なり、非常に厳しい状況にあります。

現在、富士東部地区の中で、当市立病院の病床数は、急性期85、回復期50となっていますが、トータル135の数字を維持しながら、入院数を増やす努力をしていき、八王子の病院で急性期を終えた方が安心して戻って来られる様な病院を目指すとのことです。

また今後は、課題解消に向けた事業計画管理表を作成し、市立病院管理運営協議会において進捗を

確認するとともに、5年を目途に事業の検証を行うとのこと、具体的な取り組みとしては、人工透析の拡充や外科・小児科常勤医の確保に努めるとの説明がありました。

議員からの、諸課題について、今後は市議会と市立病院が定期的に意見交換を行う場を設けたい、という意見に対しては、そういった機会を頂ければありがたく対応させてもらうとの回答がありました。



駅の時計の再設置を求める決議

JR東日本は維持管理費等の削減を目的に管内全体で昨年秋季から駅に設置した時計の撤去を進めています。

上野原駅、四方津駅の時計もすでに撤去されました。日本の鉄道の運行時間の正確さは世界に比類なきものであり、時刻表通りの運行を進めている以上、正確な時計の設置は鉄道事業者の当然の責務であると考えます。もっとも信頼の置ける公共交通機関であるJR東日本がその撤去を断行したことは、駅利用者の信頼を著しく損なうものです。

現代は腕時計やスマホで時間の確認はできますが、駅の利用者は手荷物を抱えている場合が多く、朝・夕の通勤時には忙しく余裕が無いことが多いし、そして行動に時間が必要な高齢者、障害者への配慮・目線が著しく欠けています。このことから、上野原市議会では、3月2日の本会議で、「上野原駅、四方津駅から撤去した時計

の再設置を求める決議」を全会一致で可決しました。

JR支社に要請

3月30日に、東山洋昭議長、岡部幸喜副議長は、大月市議会正副議長、及び上野原、大月両市長とともにJR東日本八王子支社を訪れ、山梨県内の駅構内の時計の再設置の要請を行ってきました。上野原市議会の決議も八王子支社長に提出してきました。

提出後の協議では、どの様な方策で再設置が可能なのかをJR東日本と両市、両議会でも知恵を出し合い、考えていくことを確認してきました。



JR 東日本八王子支社前

市民の声



専門交通指導員
山口宏行さん

子ども達の笑顔が励み

平成28年1月4日より上野原市専門交通指導員に委嘱され、早いもので6年が経過しました。仕事の内容は、街頭での交通安全指導と上野原警察署が実施している各保育所、幼稚園、小学校の交通安全教室での補助、各交通安全週間への参加をしています。また、JR上野原駅周辺の駐輪場では通勤通学者のバイクと自転車の整理と清掃をしています。

上野原市内の小中学校の通学路は歩道の無い所や狭い道路が多く、特に上野原小中学校の通学路になっている明誠高校の通りは道幅も狭いうえ、朝は工業団地への通勤の車など多く混雑し交通事故防止に一番気を使っている所です。

また、通学途中における交通事故の報道を見るたびに、歩行者ばかりでなく通行車輛にも気をつけていきたいと感じています。朝夕の児童生徒の元気な挨拶や笑顔が仕事の励みです。

6 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
				本会議 (初日) 傍聴可	議案調査	
5	6	7	8	9	10	11
	議案調査	委員会 予算特別	議案調査	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	
12	13	14	15	16	17	18
	議案調査	本会議 一般質問 傍聴可	本会議 一般質問 傍聴可	本会議 一般質問 予備日 傍聴可	本会議 (最終日) 傍聴可	

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大の波が何度も襲ってきました。いのちや健康の不安、経済的な不透明感が世の中に広まっています。人口減少もさらに進んできました。この先どのような対応をすればいいのか、模索の時代です。

新しい年度が始まり、花がいっせいに満ち溢れ、鳥のさえずりも蘇ってきました。自然は毎年繰り返すように見えますが、環境保全の課題は、ますます重要になってきています。

議会だよりを読みやすくすることをめざしながら、市民の直面している課題に答えられるよう今後も努力を重ねていきます。(川田)



議会だよりのQRコードです



議会だより編集常任委員会
委員長 川田 好博
副委員長 山口 薫
委員 内田 倫弘
委員 八木 一雄
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子